

## 大学レベルの論文の作成

### 論文とは？

- ① **存在価値**(起承転結を面白く転じるのではなく、問題意識と話題性で読者を獲得)  
論文は小説、演劇脚本、漫画等と違い、問題の重大さを以て論理的に発展する。  
テーマの研究意義は何か、研究史の中にどう位置付けられるのかを常に意識する。
- ② **発展**(先行研究を批評し、不足・問題点・可能性を指摘し、それに対する仮説を証明)  
論文はレポート、報告書、事実纏めと違い、既存の知識に+αの情報や見解を加えて貢献。
- ③ **立場**(脱個人→客観普遍 誰から見ても同じ事実と論理に基づいていれば同じ結論に到る筈)  
論文は感想文、随筆、意見書、社説論と違い「自分がどう思う」ではなく、客観事実。

### 論文の展開法:以下の方法の1つ(或いは複数)を用いてトピックを展開する

- ① **概説・解説**:情報を総まとめして、時間の経過などにそって事実を書いていく。  
ただし、自分の視点や書く目的を常に意識する。(単なる報告書に陥りやすい)。  
例)日本の1990年代を振り返り概観する。
- ② **分析**:複雑な事柄を単純な要素に分解して分かりやすくする。  
例)運輸業界の乗客拡大戦略を業種別や企業別に分けて考察。
- ③ **比較**:2つ以上の事柄の相違点や共通点を指摘。  
例)日米の自動車産業における雇用比較。
- ④ **類推**:共通点の指摘から推測をする。  
例)アメリカの1930年代の大恐慌と日本のバブル崩壊が非常に類似。  
(AとBには1と2の点で共通点がある→おそらく3と4でも同様のことが起こりうる)
- ⑤ **通説の捕捉・修正・論破(仮説の立証)**:通説が本当なのか検証する。新仮説の提起・立証。  
例)モンローは本当に事故死なのか？

### 興味有る領域を論文レベルのテーマに絞る

- ① **まず自分の課題を整理する。**  
論文を論理的に展開するにはアウトラインをまず作成する。ただし、いきなりアウトラインを書こうとしても難しいので、まず自分の関心のあるテーマをなるべく詳細に挙げてみる。
- ② **事前調査**  
課題(自分の研究テーマ)の細かな事にいきなり取り組むのではなく、大枠をつかんでから次に、詳細な事例を大きな枠組みの中で捉えつつ把握していく。網羅的・学問的な思考、即ちある事柄を、概説→詳細、抽象→具体、上位概念→下位概念、と攻めて精確・柔軟に捉える。
- ③ **参考図書(濃縮情報ツール)=百科事典や図鑑、専門事典、教科書などの解説本・事典**  
例)百科事典:小学館『日本大百科全書』、Encyclopaedia Britannica、Americana  
専門事典・地域的な事典:『新社会学事典』、『アメリカを知る事典』  
→参考図書(濃縮情報ツール)の引き方
  - ① いきなり項目を探すのではなく、必ず索引から引く(特に冊子体の場合)。
  - ② 調べ方の凡例にさっと目を通し、記号などの意味を確認する。
  - ③ バランスの取れた情報を得るために、2種類以上のツールを利用するようにする。

→探していたテーマの概説に加えて参考図書(濃縮情報ツール)から分かること

- ① 自分の関心テーマのメジャー/マイナー度 例)項目の説明が長い=メジャー度が高い
- ② 自分の関心テーマの主要文献 (ただし、平凡社など多くの日本の百科事典にはない)
- ③ 自分の関心テーマの権威者 (第一人者が百科事典の記事を書く→著作をチェック)

### 新旧の方法の両刀遣いがリサーチ必勝のカギ

#### ① 情報保存管理

- ・旧:カードファイルでの整理。
- ・新:文献データベースなどの活用。

#### ② 情報収集

- ・旧:専門家への問い合わせ(ロコミ情報)、本や論文の文献表の参照。
- ・新:学術データベースなど、最新の技術を駆使した検索。

#### ③ 実際の資料収集

- ・旧:申込書(手紙)を書いて文献を依頼。図書館へ赴いて複写(転写！)。
- ・新:電子ジャーナルからダウンロード、資料のコピーにデジカメ利用、ネットで資料注文。

### 学術データベースを使うと、

- ① 冊子体よりも遥かに多くの情報源に瞬時にアクセスできる可能性が大きい。  
例)遠方の大学の所蔵調査を簡単にできる。
- ② 出版情報など最新の情報が得られる。本屋のサイトにアクセスすれば即注文できる。
- ③ 記事の内容を画面上で公開するサイトも、記事のコピーを送ってくれるサービスもある。

しかし、インターネット一般(特に個人や団体のホームページに関して)は、

- ① 編集過程を経ていないので、ホームページの中には誤った情報が記載されることもある。
- ② ホームページの作成者は必ずしも中立・公正な立場を取っている訳ではないし、掲載内容に関して専門家・権威者でないことも多い。
- ③ ホームページの内容は刻々と変化する(レポートを提出する時に無くなることもある!)。必ずサイトのアドレスと日時をメモしておくこと(普通印刷した時に表示される)。

### 学術データベース利用のコツ

- ① 統制語を利用すればノイズ(余計な情報)を回避できる。(統制語の有無はデータベースによる)  
例)デパート ← デパート、百貨店、デパートメントストア
- ② 検索結果が多すぎる場合は、ノイズを回避するため下位語やフレーズを使う。データベースによっては、論理差(not)、論理積(and)、「追加キーワード」や「年度制限」で数を絞り込める。
- ③ 見付からない場合は、  
関連語や上位語を何回か変えてみる。  
例)『三国志』/魏/蜀/呉/劉備、ジョン・レノン/ビートルズ、森鷗外/明治文学  
論理和(or)を使い、関連語や上位語を広げて足す。
- ④ 各データベースにおいて、役立つキーワードを丹念にメモする。

### 論文作成では実行可能な計画を入念に立て、着実に一歩ずつ進む

- ① メモ魔になる。意識の流れのままにメモを取っておくと意外な名案が浮かぶこともある。
- ② とにかく計画(長期・中期・月間・週間など)を立てる習慣をつける。  
計画やアウトラインなしで「何とかなるさ」と書き始めるのは、余りに無謀。
- ③ 原稿の読み直しには、書くのと同じぐらいの時間がかかることを覚悟する。
- ④ 第三者に読んでもらう。忌憚なく意見が言い合える友人は、研究者にとって人生の宝。

# 課題

# 基本文献を探し出す

## 1. テーマを設定して、参考図書を探す

- A. テーマを決める 自分の興味・関心のあるテーマを言葉で表す。  
例) 日本のサンゴ礁の分布変化と温暖化/ 森鷗外について
- B. 分野を特定する アプローチする分野を書き出す。  
例) 環境工学 / 文学
- C. キーワードを考える テーマを絞り込んだら、主なキーワードを考える。  
例) サンゴ礁・温暖化・日本 / 森鷗外・明治文学
- ◇ 主なキーワードの上位語(広義)、関連語(同義)、下位語(狭義)を書き出す。  
例) 環境問題・岩礁・二酸化炭素・石垣島/ 日本文学・近代文学・舞姫

## 2. 参考図書を引いて、基本文献を探す

- D. 参考図書を探す アプローチする分野の参考図書を挙げる。  
例) 地球環境工学ガイドブック/ 日本近代文学大事典
- E. 索引を引く まず索引を引いて、項目および項目が掲載された巻・ページ・記号を書き出す。  
例) 「も」から森鷗外を引く → 森鷗外、23 巻、35D / 舞姫、21 巻、801B
- F. 役立つ項目を探す メモから属する項目を確認して役立つ情報が載った項目を選び、執筆者を挙げる。  
例) 項目: 森鷗外、執筆者: 磯貝英夫
- ◇ このとき項目中に基本文献の掲載があるかを確認する。  
基本文献が掲載されていない場合は、  
関連する他の項目(執筆者等)から基本文献を探す。  
見つからない場合は他の参考図書をあたる。
- G. 基本文献を確認する 選択した項目に挙げられている基本文献を書き出す。  
著者名、書名(あれば出版年)を記入せよ。  
例) 書名:『鷗外森林太郎』、著者名: 森潤三郎、出版年: 1934 年
- H. 文献の所在を確認する G.の資料の所在を確認する。  
例) 附属図書館、書庫 B2、5-62||オ||37
- ◇ KULINE やカード目録を使って検索する。京都大学の図書館にない場合は KULINE の他大学検索機能を使って最寄りの大学図書館を調べる。  
(この授業の実習では京都大学の図書館にある文献を検索する)

例 「百科事典」を引く

「森鷗外」の掲載ページ

①



森鷗外

基本文献



同時に、対極の虚無思潮を  
を展開しつつ、しだいに  
史のなかに摸索していっ  
おとの緊張感は、「石見人  
ト欲ス」と書いた遺言に  
がある。自然主義系の文  
互に疎んじ合った。鷗外  
といった者はもたなかっ

川龍がわりゅう之介、石川淳いしかわじゆん、三島由紀夫らが数えられ  
る。↓阿部一族 ↓キタ・セクスアリス ↓うた  
かたの記 ↓雁 ↓寒山拾得 ↓最後の一句 ↓  
山椒大夫 ↓渋江抽斎 ↓青年 ↓高瀬舟 ↓舞  
姫 ↓妄想  
④『鷗外全集』全三八巻（一九七二）五・岩波書店）  
▽森潤三郎著『鷗外森林太郎』（一九六〇・昭和  
書房）▽石川淳著『森鷗外』（一九六二・三笠書  
房）▽唐木順三著『鷗外』（一九六二・筑  
摩書房）▽小金井喜美子著『森鷗外の系族』（  
一九六三・大岡山書店）▽日夏耿之介著『鷗外』

文学』（一九  
『森鷗外』  
『森鷗外——文芸学試論』（一九六六・雄山閣）  
▽中野重治著『鷗外 その側面』（一九六三・筑  
摩書房）▽小堀杏奴著『父——晩年の森鷗  
外』（一九七〇・宝文館）▽長谷川泉著『森鷗外  
論考』正統（一九六三・明治書院）▽小堀桂一  
郎著『若き日の森鷗外』（一九六九・東京大学出  
版会）▽吉野俊彦著『森鷗外私論』正統  
（一九七三・毎日新聞社）▽山崎正和著『鷗外  
闡う家長』（一九七三・河出書房新社）▽蒲生芳  
郎著『森鷗外 その冒険と挫折』（一九七〇・春  
秋社）▽竹盛天雄著『鷗外 その紋様』（一九  
七〇・小沢書店）

「索引」より

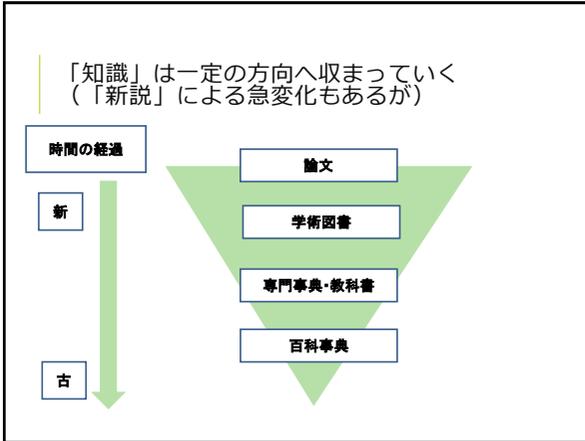
もりおか

- モラン山 →アメリカ合衆国①619
- モランテ,E 44[1888] 作家 ③1 B
- モランディ,G 44[1898] 画家 ③31 B  
→イタリア美術②395 A →形  
而上絵画②72 D
- モーランド,G 44[1888] 画家 ③31 C
- モランボン →ビョンヤン②792 B
- もり →子守(民俗)②578 D
- もり →そば②193 C
- 社 →森③31 D
- 森 大分 玖珠町 ③31 C
- 森 ③31 C
- 森 →姓名④472
- 森(町) 北海道 渡島支庁 ③32 B
- 森(町) 静岡 ③32 B
- 錚 ③32 C ③ →水中鏡②828 D
- 母里 鳥根 伯太町 ③32 D
- モリーー,M.F 74[1874] 海洋気象学者  
③33 A →海洋④706 C
- モリーー,E.W 74[1883] 物理学者・化  
学者 ③33 D →マイケルソン-  
モリーーの実験②794 C
- モリーー,J [1888] →小イギリス主義  
②788 A
- モリーー,C 74[1888] 編集者・作家 ③  
33 D
- モリア →多幸症②722 B
- モリアオガエル[森青蛙] ③33 D ④  
→アオガエル①96 D →尾瀬④219  
B →八丁池②830 B →郵便切手  
②375
- 盛り上り咲き →バラ②92 C
- モリアザミ ③34 A →アザミ①263  
B
- 森敦 74[1883] 小説家 ③34 A →芥  
川賞①200
- モリアーティ →シャーロック・ホーム  
ズ①411 A
- モリアネ →子守②579 A
- 森有礼 74[1883] 政治家 ③34 B ④ →  
忠君愛国④12 C →明六社②722 D
- モリイチゴ →シロバナノヘビイチゴ  
②428 C
- モリイノシシ →イノシシ②554 B ④
- モリイバラ ③34 C ④ →バラ②92
- 森氏 →三日月落②268 C
- モリエール 74[1883] 劇作家 ③34 D  
④ →『守銭奴』①654 B →『ス  
カパンの悪だくみ』②908 D →『タ  
ルチュフ』②922 C →『人間嫌い』  
③184 B →フランス演劇②595 A  
④ →フランス文学②621 A
- モリエール賞 →演劇賞②737 A
- モリエールの家 →コメディ・フランセ  
ーズ②573 C
- モリオ →ラン②816
- 森鷗外 [1862] 文学者 ③35 D ④ ⑤ ⑥  
→阿部一族①511 B →キタ・セ  
クスアリス②347 C →居間②591  
④ →『うたかたの記』③130 A →  
『於母影』④356 B →『雁』⑥88 D  
→『寒山拾得』⑥172 D →観潮楼歌  
会⑥236 C →『最後の一句』⑨827  
C →『山椒大夫』⑩408 D →『し  
がらみ草紙』⑩613 D →『渋江抽  
斎』⑪139 A →『スバル』⑬120 C  
→『青年』⑬413 D →『高瀬舟』⑭  
642 A →『舞姫』⑳801 B →『妄  
想』⑳823 C →歴史小説⑳351 A

森鷗外 [1862] 文学者 ③35 D ④ ⑤ ⑥

- 『阿部一族』①511 B →『キタ・セ  
クスアリス』②347 C →居間②591  
④ →『うたかたの記』③130 A →  
『於母影』④356 B →『雁』⑥88 D  
→『寒山拾得』⑥172 D →観潮楼歌  
会⑥236 C →『最後の一句』⑨827  
C →『山椒大夫』⑩408 D →『し  
がらみ草紙』⑩613 D →『渋江抽  
斎』⑪139 A →『スバル』⑬120 C  
→『青年』⑬413 D →『高瀬舟』⑭  
642 A →『舞姫』⑳801 B →『妄  
想』⑳823 C →歴史小説⑳351 A

「日本大百科全書」第二版、東京、小学館、  
1994年-1997年、25巻(p.921)、23巻(pp.36-37)



「知識」が定着していく過程 = 評価

例：論文の場合

短期的評価

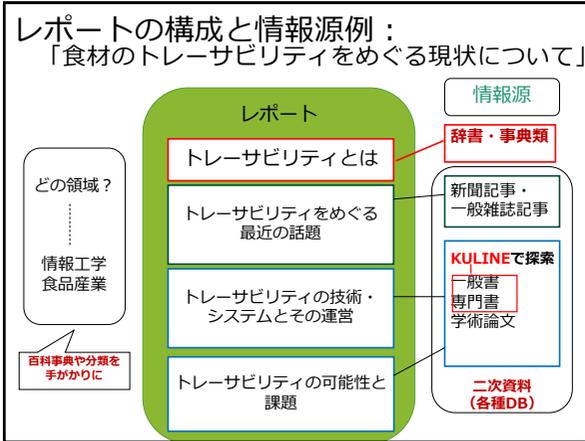
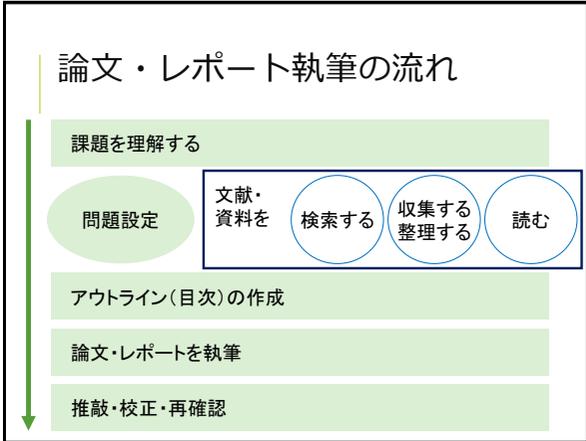
- 査読制度

学術雑誌を発行している機関や学会から複数の専門家に評価を依頼し (ピア・レビュー)、一定の基準を満たした論文を採用する制度

長期的評価

- 引用

被引用件数が論文内容の評価を反映していることに注目  
 ⇒ 引用件数  
 ⇒ インパクト・ファクター



- 問題提起⇒アウトライン化
1. 文献で何が、どのように言われているか  
 = 何が言われていないか、何が分かっていないか
  2. 問題提起
  3. 主題の決定
  4. 大枠のアウトライン (目次) を作成
  5. 詳しいアウトライン (目次) を作成

## 大枠のアウトライン例

1. 概要説明
2. 先行研究の要点整理
3. 問題提起と仮説の提示
4. 調査結果
5. 結論

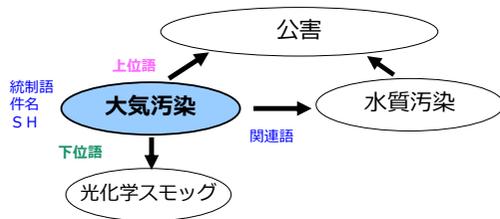
## 概念の整理とキーワード選定

### 概念の整理とキーワード選定

1. 対象とするテーマや関連事項を百科事典などで調べ、基礎知識を押さえる
2. 対象とするテーマの上位概念や下位概念を知ること、自分の問題関心を明確にする
3. 自分のキーワードと学術情報源のキーワードは必ずしも一緒ではない
4. キーワードのマッピング

## 「何を探したいか」のキーワードと構造化

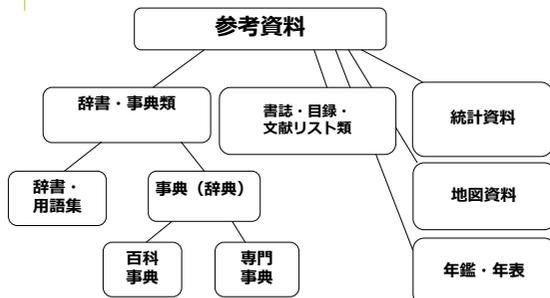
1. 百科事典を活用
2. シソーラスの活用による概念のマッピング



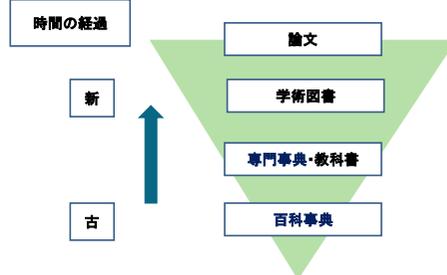
## 参考資料とは？

評価が確定した事項や語彙をキーワードに、「通読」するのではなく、「参照」する、「引く」ことを想定して作成された資料

## 「参考資料」の分類と種類



論文を先行研究に基づいて書くので、基礎文献を理解した上、最新情報まで調査して研究を修める



# 来週の演習について

10月27日（火） 4限 14:45 ~16:15

附属図書館にて、参考図書（事典類）を用いた演習を行います

集合場所： 附属図書館3階 ライブラリーホール

エレベーター・階段の  
右手側すぐ

